

# やってみましょう 17 割込受信した情報によって点灯するLEDを切り替えてみよう(演習)

シリアル通信(割込受信)の演習をする。

## ■ 実験の概要

この実験では、e-nuvo BASIC のベース基板上に搭載される CPU 基板の CN4 コネクタ(RS-232C)と PC を付属のケーブルで接続し、PC から送ったデータをマイコンで受信する。受信したデータを基に、LED を点灯させるプログラムを作成する。

### ■ プログラム仕様

- ・ 入力データは、1～8 の数字とし、PC 側の通信ソフトから H8 へ割込送信する
- ・ 割込受信した数字によって、対応する LED1～LED8 を点灯させる。
- ・ c または C を割込受信した場合は、LED を全消灯させる。
- ・ 数字の 1～8、c、C 以外のデータを割込受信した場合は、エラーメッセージを送り返す。
- ・ \*q または \*Q を割込受信したら直ちにプログラムを停止し、PC にメッセージを送信すること。

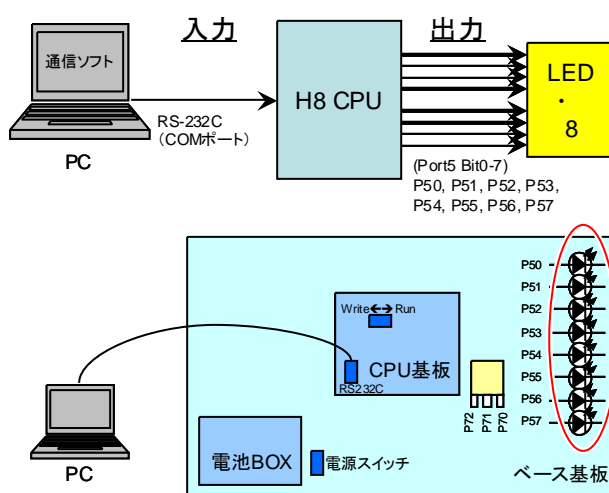


図 17.1 この実験の入出力構成と、配線図